

令和7年度 佐々神田保育園 事業報告書

1 保育所の運営

(1) 定員 170名

(2) 年齢別・月別入所児童数（各初日現在）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
乳児	8	8	8	11	13	16	16	16	16	16	17	17	162
1～2歳児	58	59	59	58	58	59	60	60	59	59	59	59	708
3歳児	30	30	30	29	30	30	30	30	30	30	30	30	359
4歳児以上	66	66	66	66	66	66	67	67	67	67	67	66	797
計	162	163	163	164	167	171	173	173	172	172	173	172	2026

(3) 職員数 令和7年度始 40名 令和7年度末 42名

(4) 職員の異動等

①採用

年月日	職 名	名 前	年 齢	資 格	備 考
R7.6.1	保育士			保育士資格	常勤的非常勤
R7.6.1	保育士			保育士資格	常勤的非常勤
R7.6.8	看護師			准看護師	常勤的非常勤

②異動

年月日	職 名	名 前	年 齢	資 格	備 考
R7.4.1	保育士			保育士資格	配置換増←ルンビニ保育園
R7.4.1	副園長			保育士資格	配置換増←日宇保育所

③退職

年月日	職 名	名 前	年 齢	資 格	備 考
R7.6.10	保育士			保育士資格	一身上の都合により退職
R7.7.31	看護師			看護師資格	一身上の都合により退職
R8.3.31	調理員			調理員	一身上の都合により退職

(5) 職員会議の開催状況

職員会議は月に2回以上、毎週にミニカンファレンスを開き、職員同士の情報を共有した。保護者からの相談や、クラス運営についての問題が提起された場合は、その都度話し合いをし、解決策を見出した。また、行事が終わった後はその反省を生かし、時代に合った行事内容や流れを見直した。

2 保育の実施状況

「命を大切に」の保育理念を柱に、保育課程及び保育計画を立て、職員全員で「子どもに寄り添った保育」を心掛けた。子ども一人ひとりが自己を十分に発揮し活動できるよう、子どもの「やってみたい」という気持ちを大切に育みながら、可能な限りそれぞれに合わせた保育を行った。今年度で2回目となる一日保育参観を実施し、普段の子どもの様子を保護者に見ていただくことができた。また、園長や職員と保護者が話す場を設け園の方針や保育園側の思いを伝えることができた。また、保護者向けのアンケートをとり保護者の相談事や悩み事には丁寧に対応し、特に多かった感想は掲示をすることでご理解をいただいた。これらの反省点や改善点を踏まえ、保育がよりよく行えるように努めることができた。

3 外部講師

指導内容	講師名	指導回数（月・週指導回数）	外部委託会社
------	-----	---------------	--------

幼児体育教室指導		年 21 回	いむら体育教室
漢字保育指導		年 7 回	登龍館
英語遊び指導		年 40 回	ECC 英語教室

4 年間行事の実施状況

月日	行 事	月日	行 事
4.1	入園・進級式	4.8	花まつり（近隣の延命寺）
4.17	漢字保育	4.18	親子遠足（パールシーリゾート）
4.25	誕生会 防災訓練	4.30	交通安全教室
5.2	端午の節句	5.14	尿検査提出
5.20	藤組バスハイク（北農高・動物ふれあい体験）	5.22	野菜の苗植え
5.23	誕生会	5.27	防災訓練
5.28	梅組バスハイク（北農高・動物ふれあい体験）	5.30	漢字保育
6.3	歯科健診	6.11	交通安全教室
6.17	梅組バスハイク（千本公園）	6.18	藤組バスハイク（佐々小見学）
6.19	内科健診	6.20	誕生会
6.27	防災訓練（水害・火災）		
7.7	七夕会	7.24	漢字保育
7.25	誕生会 防犯訓練（不審者）	7.29	防災訓練
8.1	夏祭りごっこ	8.20	交通安全教室
8.22	誕生会	8.25	防災訓練
8.29	漢字保育研修		
9.5	防災訓練（地震・火災）	9.12	大根種植付（学童農園）
9.19	誕生会	9.26	漢字保育研修
10.7	運動会総練習（未満児）	10.10	運動会総練習（以上児）
10.18	運動会	10.21	防犯訓練
10.22	交通安全教室	10.23	検尿提出
10.24	誕生会	10.27	内科健診
10.28	防災訓練（火災）	10.31	芋ほり（学童農園）
11.1	青少年音楽祭	11.7	秋の遠足
11.11	総合防犯訓練	11.14	漢字保育
11.17	笑福マーチング訪問	11.20	虹の里マーチング訪問
11.21	誕生会	11.25	佐々小交流会「森のわくわくランド」
11.26	交通安全教室		
12.2	大根引き（学童農園）	12.3	口石小交流「おもちゃランド」
12.11	お遊戯会総練習（未満児）	12.12	お遊戯会総練習（以上児）
12.20	お遊戯会	12.23	防災訓練
12.24	誕生会	12.27	保育納め
1.5	保育始め	1.14	佐々町四ヶ園交流会「さざっこニコニコ会」
1.16	防災訓練	1.23	漢字保育（カルタ大会）
1.26	誕生会		

2.3	節分会	2.6	梅組バスハイク（でんでんパーク）
2.18	交通安全教室	2.20	誕生会
2.24	防災訓練	2.25	マラソン大会（未満児）
3.3	ひな祭り会	3.4	マラソン大会（以上児）
3.6	防災訓練 誕生会	3.14	卒園式
3.17	お別れ遠足（園近隣散策）	3.24	なわとび大会
3.30	防災訓練（地震）	3.31	お別れ会 防犯訓練

5 職務分担表（令和7年度最終版）

職名及び氏名	職 務 内 容	
園長 渡邊エミ子 （苦情解決責任者） （虐待防止責任者）	1 理事会の決定事項の執行 2 運営管理（人事・労務・施設・防火） 3 保育業務の管理（保育課程の作成） 4 財務管理	5 職員の資質向上（研修） 6 関係機関、保護者会等との連携及び地域活動 7 苦情解決責任者 8 虐待防止責任者
副園長	1 園長の補佐	2 運営管理、保育業務の補佐
主任保育士 （苦情受付担当者）	1 園長の補佐 2 職員相互の連携 3 保育課程の作成及び保育内容の指導助言 4 園内研修の企画及び指導 5 園行事に関する計画及び指導	6 保健衛生に関する計画及び指導 7 給食に関する助言指導 8 職員会議の計画と実施 9 小学校との連携 10 苦情受付担当者
保育士 共通事項	1 指導計画の作成 2 保育実務 3 保育に関する記録 4 園児の健康と安全管理	5 調理員との連携 6 保護者との連絡及び指導 7 園だよりの作成
保育士	＊藤組の担任	
保育士	＊梅組の担任	
保育士	＊桜組の担任	
保育士	＊桃組の担任	
保育士	＊堇組の担任	
保育士	＊蒲公英組の担任	
事務員	1 保育園の事務一般に関すること	
保育士	1 園舎内外の掃除点検	2 共通遊具の整理、保存
保育士	1 保育材料に関すること	2 図書の管理
保育士	1 交通安全及び避難訓練に関すること	2 備付備品に関すること
看護師	1 保健衛生に関すること 2 医薬品の整備・保管	3 健康診断及び歯科健診、尿検査に関すること 4 検便に関すること
衛生推進者	1 衛生推進に関すること	

保育士	1 延長保育事業に関すること	
保育士	1 障がい児保育に関すること	
保育士	1 食育に関すること	
調理員	1 献立の作成及び給食材料の発注・検収 2 給食人員の把握 3 調理・配膳	4 炊具、食器の保管 5 給食事務 6 園舎内外の清掃、整頓に関すること
嘱託医	1 園児及び職員の健康診断	2 園児及び職員の健康に関する指導
嘱託歯科医	1 園児の歯の健診	2 園児及び職員の歯の健康に関する指導

6 施設等の整備状況

(1) 施設の改築・修繕（100万以上）

年 月	工 事 名	金 額
なし		

(2) 固定資産物品（10万以上）の購入

年 月	物 品 名	金 額
R7.6.23	まきばのおうちセット	999,000
R8.2.20	全館 Wi-Fi 環境構築	308,000

7 保育所の自己評価

(1) 職員の自己評価

保育の質の向上を図るため、自らの行う保育について常に子どもの視点に立つことを各自意識した。

自己評価を年間を通して行い、反省を踏まえつつ、それぞれが次年度の目標をたてるようにした。

(2) 保育園における自己点検・自己評価

保育園の実態に照らし合わせ、年度末にクラス単位で話し合い評価を出した。最終的には施設長の責務のもと保育園の全体的な計画に反映した。

園全体の評価を4段階で表し、外部への公表も行い、当園の現状及び改善点を明らかにし来年度への計画に反映させ、保育の改善につなげた。

8 職員の研修参加状況

複数の外部研修に参加することができた。また、キャリアアップ研修の情報をお互いに提供し合った。園内研修では、長崎県幼児教育センターより幼児教育アドバイザーの派遣を受けたことにより、職員が個々に保育についてもう一度考え、更に全員で話し合い、共通意識を持って保育することができた。

(1) 外部研修

月日	研修会名	参加者名
5.21	長崎県保育協会 食育研修会	
5.21	佐世保市幼児教育センター 特別支援教育研究会	
6.19	(有) 佐賀メイト 運動会実技研修会	
7.25	長崎県保育協会 初任者研修会	
7.31~8・1	株式会社登龍館 夏期指導者研修会	
8.29	保長崎県保育協会 保育研修会	

9.4	長崎県保育協会 保育部会（保育士班）	
9.17	長崎県保育協会 主任・主幹研修会	
10.21	長崎県保育協会 保健研修会（ハイブリッド開催）	
11.10	長崎県保育協会 施設長研修会	
11.19	長崎県 幼児教育アドバイザー訪問研修会（園内）	
12.4	長崎県保育協会 保育部会（食育班）研修会	
月日	キャリアアップ研修名（集合・DVD・eラーニング）	参加者名
10/15.16	障害児保育（eラーニング）	
10/15.16	食育・アレルギー対応（eラーニング）	
10/27.28	保健衛生・安全対策（eラーニング）	
10/28.29	乳児保育（eラーニング）	
10/30.31	乳児保育（eラーニング）	
11/1.4	保護者支援・子育て支援（eラーニング）	
11/1.28	乳児保育（eラーニング）	
11/5.6	保健衛生・安全対策（eラーニング）	
11/5.6	食育・アレルギー対応（eラーニング）	
12/26.27	保健衛生・安全対策（eラーニング）	
1/5.6	食育・アレルギー対応（eラーニング）	
1/9.10	障害児保育（eラーニング）	

（２）針尾福祉主催の研修実施状況

①漢字保育内研修 年7回 4/17・5/30・7/24・8/29・9/26・11/14・1/23

②法人内公開保育研修 年13回

月日	研 修 会 名		参加者名
R7.4.28	針尾保育園	公開保育	
R7.4.30	針尾保育園	公開保育	
R7.5.1	針尾保育園	公開保育	
R7.5.2	針尾保育園	公開保育	
R7.5.12	ルンビニ保育園	公開保育	
R7.5.14	ルンビニ保育園	公開保育	
R7.5.16	ルンビニ保育園	公開保育	
R7.5.17	ルンビニ保育園	公開保育	
R7.5.20	日宇保育園	公開保育	
R7.5.21	日宇保育園	公開保育	
R7.5.23	日宇保育園	公開保育	
R7.5.27	楠栖保育園	公開保育	
R7.5.29	楠栖保育園	公開保育	

9 意見・要望・苦情・不満処理受付状況

・特になし

保育園（所）における自己点検・自己評価

（園名 佐々神田保育園 ）

・ A、B、C、Dの4段階評価

A：大変良い
B：良い
C：一部検討を要する
D：改善を要する

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	（１）保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた保育課程を設定しているか。	○				・ 職員間で共通理解できた ・ 前年度の反省をもとに概ね計画的に進めることができた
	（２）目標は、施設や地域の特色を生かしているか。	○				
	（３）目標は、情勢を鑑みて子どもの最善の利益になっているか。	○				
	（４）目標は、前年度の反省を生かしているか。		○			
	（５）目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○				
保育について	（１）指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				・ 環境を生かして月齢に合った保育ができた
	（２）保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	（３）環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	（４）評価結果を基に、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	（１）１日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。	○				・ 現行のままで良い
行事について	（１）行事の種類や実施回数は適切か。		○			・ 年長児は行事が多く検討の必要がある ・ 全体的にも余裕をもってできるように改善、話し合いを重ねていく必要がある
	（２）行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	（３）乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			
	（４）計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。	○			・ 職員の役割分担などは適切であり、協働できている
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○			
		(3) 職員の配置は適材・適所か	○			
		(4) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○			
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○			・ 細かく話し合い、意見の出し合い、工夫できた ・ 時間制限を設ける必要がある
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○			
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。	○			
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標に基づいて設定しているか。	○			・ 子どもの特色を園全体で共通理解し、対処法を持つようにする必要がある ・ 伝達不備の場合があるので改善の必要がある
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○			
		(3) 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○			
		(4) 同年齢及び異年齢時間の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(5) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行なっているか。	○			
		(6) 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。	○			・ 避難訓練、交通安全教室は適切に行われている ・ 保護者との連携を取り、支援や声掛けを行った
		(2) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○			
		(4) 乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○			
研修	所内研修	(1) 所内研修は、保育目標の具現化につながるものであるか。	○			・ 研修の内容報告、共有をする必要がある ・ 研修内容によっては連携もよく、振り返りや目標設定がよくできた
		(2) 所内研修の計画・運営は適切か。	○			
		(3) 研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか。	○			
		(4) 研修の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○			
	所外研修	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○			・ 学んだことを活かし目標を具現化できた
		(2) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○			

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	○				・ 個人情報を守り、処理できている
	(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○				
	(3) 各諸表簿は適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				・ コドモン導入により情報公開しやすくなった。並行して口頭、掲示板も利用した ・ 不審者訓練内容は見直す必要がある
	(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。	○				
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				・ 適切に処理できた
開かれた交流・連携 交流・連携 保育所	(1) 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題に添ったものになっているか。		○			・ 回数や内容は適度であったが、他園との交流が中止になったので、今後交流したい ・ 保幼小連携はできているが、さらに活発に行っていききたい
	(2) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			
	(3) 指導者どうしが、打合せや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	(4) 参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。		○			
	(5) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
づくり 家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、参観日等を設定しているか。	○				・ 一日保育参観ができ、保護者とのコミュニケーションがとれた ・ 地域の行事に未満児も参加したい
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
	(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
	(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			

項目		内 容	評 価				意見・改善策
			A	B	C	D	
開 か れ た 保 育 所 づ く り	子 育 て 支 援 の 推 進	(1) 地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行っているか。				○	・保護者との会話が普段はあまりできない ・専門機関との連携はとりやすく、必要に応じて情報交換できた
		(2) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を取り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情 報 の 発 信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○				・コドモン、ホームページにより、これまでよりも情報公開ができた
	外 部 評 価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			・参観アンケートへの対応をする必要があるので今後反映していく必要がある
		(2) 保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			